



(財)岡山工学振興会 2008.3 発行

財団法人岡山工学振興会編
〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1
Tel,Fax:086 - 255-8311
E-mail: ofst@cc.okayama-u.ac.jp



第20回(平成20年度)学術研究助成等の公募

平成元年に設立いたしました(財)岡山工学振興会の学術研究助成等の公募も今回で20回目を迎えることとなりました。現在までの助成額も19,540.7万円に達することができました。財団を取り巻く環境は、依然厳しい状況が続いていますが、平成20年度においても、次の3項目について公募します。

1. 学術研究の助成、
2. 国際研究集会等派遣の助成、
3. 学術研究集会等への助成

1. 学術研究の助成

1. 目的

この助成は、大学と産業界の連携を図りつつ、岡山県内における理工学に関する学術ならびに先端技術に関する研究を助成し、その振興を図ることにより、岡山県における科学技術社会の発展に寄与することを目的としています。

2. 研究助成の対象

理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が1人で行うもの、又は2人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの

3. 研究助成種目

研究の目的・性格に応じて、次の研究種目を設けています。

- (1) 奨励研究 申請時に37歳以下(申請時)の研究者自身が、将来本人の最も主体的な研究として育てる目的中心課題ととして取り組む、優れた着想と発展性を備えた、学術的あるいは先端技術に関する萌芽的研究
- (2) 一般研究 特色ある成果を挙げている研究者が、新しい発想により格段の発展(学会内論文賞をねらえるレベル)さらに学会・社会で認知される水準を目指して取り組む、学術的あるいは先端技術に関する研究

- (3) 特別研究() この研究助成は「内山勇三科学技術賞」と称し、平成元年に内山工業株式会社元会長故内山勇三氏の寄附金で設けたもので、特色ある先導的成果を挙げている研究者が、それを特許取得または実用化が展望できる内容に発展させることを目指した、先端技術に関する研究
- (4) 特別研究() この研究助成は「内山工業株式会社 110110 周年記念科学技術賞」と称し、内山工業株式会社の寄付金により平成 20 年度に限って設けるもので、特色ある先導的な研究を対象とする。

4. 研究助成件数と助成額

- | | | | |
|-------------|-------|-----|-----------------|
| (1) 奨励研究 | 4 ~ 5 | 件程度 | (1 件 50 万円まで) |
| (2) 一般研究 | 2 ~ 3 | 件程度 | (1 件 100 万円まで) |
| (3) 特別研究() | 1 ~ 2 | 件 | (総額 400 万円まで) |
| (4) 特別研究() | 1 ~ 2 | 件 | (総額 200 万円まで) |

5. 研究助成の申請

(1) 応募資格

理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専及び公的研究機関に所属する者

(2) 申請手続

申請者は研究の目的、性格、必要性等を十分に考慮のうえ、適切な種目で「研究助成申請書(様式 11AA)」を作成し、所属研究機関の代表者に提出し、その推薦を受けてください。研究機関の代表者は、申請書類を研究種目ごとに取りまとめ、下記 7 に提出してください。

(3) 申請書類

申請用紙は当財団のホームページからダウンロードできます。

また、財団事務局までご請求くだされば、電子データの様式(Windows Word 版)をお送りいたします。 (E-mail : ofst@cc.okayama-u.ac.jp)

6. 提出期限

平成 20 年 4 月 4 日(金)必着

7. 提出先・お問い合わせ先

〒700-00818530 岡山市津島東中二三丁目 71 番 17 号 エクセレント津島 A201 号岡山大学新技術研究センター内

財団法人 岡山工学振興会事務局(ご持参又またはご郵送して願います。)

Tel・Fax : (086) 255 - 8311

E-mail : ofst@cc.okayama-u.ac.jp

URL: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>

8. 選考結果

- (1) 選考委員会で選考し、理事会の議を経て決定します。申請者及び推薦者に対し、採否、助成金額、交付の期日と方法を通知いたします。

決定予定時期 平成 20 年 7 月中旬

- (2) 採否決定経緯の問い合わせには応じかねます。

- (3) 申請書類等は、原則として返却いたしません。

9. 研究の実施期間

研究実施期間は原則として 1 年です。ただし、研究内容によっては、次年度以降の継続も認められます。

10. 助成金の使途

申請課題以外の目的に使用することはできません。

研究代表者が病気等で長期にわたって研究ができなくなる場合、又は研究者が他の研究機関等へ

異動される場合は財団にご連絡ください。

1 1 . 研究終了後の手続

研究者は助成期間に応じ研究実績報告書を研究終了後提出していただきます。その詳細は採択時にお知らせいたします。

1 2 . 研究成果の公表

(1) 研究成果を公表する場合は、下記の財団名を参考にして当財団から助成を受けた研究である旨を明記してください。

和文例 : 財団法人 岡山工学振興会

英文例 : Okayama Foundation for Science and Technology

(2) 助成を受けた研究者は、4 ~ 5 年後に当会から研究成果の発表講演を要請する場合があります。その場合は、特別の事情がない限り必ず応じてもらいます。発表講演では、岡山県内の理工学の発展または先端技術の向上と研究成果の結びつきについて具体的に述べてもらいますのでご承知おきください。

(研究成果発表講演会については、後記の当振興会の研究成果の普及及び情報の収集・提供等の事業をご参照ください。)

II. 国際研究集会等派遣の助成

1. 目的

岡山県内の大学及び民間の優れた研究者及び技術者等を、国外で開催される理工学分野の先端技術に関する研究集会に派遣し、研究成果の発表、情報の収集及び交換の活動を援助することにより、岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上を図ることを目的とします。

2. 助成対象の研究集会

外国で開催される理工学分野の先端技術に関する国際研究集会で、国際的に権威のある学会、学術団体又は学術研究機関等が主催するもの。

3. 応募資格

派遣研究者は次の要件を満たすことを必要とします。

- (1) 大学又は研究機関等において、理工学の優れた研究活動の実績があること。
- (2) 研究集会において、講演もしくは研究発表(ポスター発表を含む。)を行うこと、又は座長になることなど重要な役割を果たすこと
- (3) 研究集会への参加により、研究の著しい向上が期待されること
- (4) 研究集会における活動に必要な語学力を有すること
- (5) 申請時の年齢が、45歳以下であること

4. 申請手続

申請者は「国際研究集会等派遣助成申請書(様式2A)」を作成し、所属研究機関の代表者に提出し、その推薦を受けてください。研究機関の代表者は、申請書類を取りまとめ、下記6に提出してください。

申請用紙は当財団のホームページからダウンロードできます。

また、財団事務局までご請求くだされば、電子データの様式(Windows Word版)をお送りいたします差し上げます。(E-mail: ofst@cc.okayama-u.ac.jp)

5. 提出期限

平成20年5月87日(水) 必着

応募状況によっては10月頃追加募集を行うこともありますのでお問い合わせください。

6. 提出先・お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市津島中三丁目1番1号 岡山大学新技術研究センター内0081
岡山市津島東二丁目7番17号 エクセレント津島A201号

財団法人 岡山工学振興会事務局(ご持参又またはご郵送して願います。)

Tel・Fax: (086) 255 - 8311

E-mail: ofst@cc.okayama-u.ac.jp

URL: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>

7. 選考結果

選考委員会で選考し、申請者及び推薦者に採否、助成金額、及び交付の期日と方法を通知いたします。

8. 研究集会参加後の手続

研究集会参加後1ヶ月以内に「国際研究集会等参加報告書」を提出していただきますが、国際研究集会での活動内容が岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与することが具体的にわかる報告であることが必要です。詳細は採択通知を差し上げるときにお知らせいたします。

III. 学術研究集会, 学術講演会への助成

1. 目的

岡山県内で開催される理工学分野の先端技術に関する学術研究集会、学術講演会を対象とし、その開催経費の一部を補助することにより、岡山県内の理工学の発展と先端技術の発展向上を図ることを目的とします。

2. 助成対象の学術研究集会

岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与する先端技術に関する学術研究集会で、次のいずれかに該当する研究集会

- (1) 学協会及びその支部が主催するもの(岡山県下で開催される学会、シンポジウム、研究会、講演会、公開セミナー、講習会等)
- (2) 公知された懇話会、研究会等が主催するもの
- (3) 財団が認める組織が主催するもの

3. 助成要件

岡山県内の研究機関に常勤する研究者が世話人として申請するもので、財団ニュース又は学会誌等で広報されるものであること。

4. 助成の制限

助成の偏りを避けるため、1団体等への助成回数、同一世話人が申請できる1年度当たりの件数、他財団等からの助成数等について基準を定めて、助成の制限を行っています。

なお、詳細は「助成の手引〔改訂版〕」を参照してください。

5. 助成の申請

助成の申請は研究集会等の開催時期に応じて下表の通り定めています。申請者はメ切日までに「学術研究集会等助成申請書(様式4A)」を作成し、財団事務局へ提出してください。

申請用紙は当財団のホームページからダウンロードできます。

また、財団事務局までご請求くだされば、電子データの様式(Windows Word版)をお送りいたします差し上げます。(E-mail: ofst@cc.okayama-u.ac.jp)

| 開催時期 | 申請メ切日 | 開催時期 | 申請メ切日 |
|-------|-------|---------|-------|
| 4月～6月 | 2/22 | 10月～12月 | 8/22 |
| 7月～9月 | 5/16 | 1月～3月 | 11/21 |

6. 助成の決定と義務

選考委員会で選考し、申請者にはその結果をすみやかに連絡いたします。採択された研究集会等から刊行される印刷物には、共催、協賛、後援、賛助等の冠を付けて財団名を記載してください。

7. 提出先・お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市津島中三丁目1番1号 岡山大学新技術研究センター内 0081
岡山市津島東二丁目7番17号 エクセレント津島A201号

財団法人 岡山工学振興会事務局(ご持参また又はご郵送して願いますください。)

Tel・Fax : (086)255-8311 , E-mail : ofst@cc.okayama-u.ac.jp

URL: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>

8. 研究集会開催後の手続き

研究集会開催後1ヶ月以内に「学術研究集会等開催報告書」を提出していただきますが、研究集会の開催が岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与することが具体的にわかる報告であることが必要です。詳細は採択通知を差しあげるときにお知らせいたします。

1. 学術研究集会・学術講演会の助成

平成19年度の学術研究集会・学術講演会の助成(第4回助成分)の申請件数は24件でした。この分野の選考は、研究助成選考委員会、第2選考委員会(委員長 岸本 昭 岡山大学教授)により行われ、

下表のとおり決定いたしました。

| 研究集会名 | 研究集会名 | 主催団体名 | 世話人 |
|---|-------|---|--------------------------|
| 第49回電気加工懇話会例会 | | 電気加工懇話会 日本機械学会機素潤滑設計部門 | (岡山大学) 岡本(岡山大学) 康寛 |
| 日本機械学会第8回機素潤滑設計部門講演会 | | 日本機械学会機素潤滑設計部門 | (岡山大学) 鈴森 康一 |
| モレキュラー・キラリティー2008 (MC2008) | | Molecular Chirality Research Organization (MCRO) | (岡山大学) 成松 鎮雄 |
| The 9th PSJ International Symposium on the Interface between Plant and Fungal Viruses | | 日本植物病理学会 植物ウイルス病研究会 | (岡山大学) 鈴木 信弘 |

学術研究集会等のお知らせ

名称 第49回電気加工懇話会例会
主催 電気加工懇話会
内容 放電加工、レーザ加工、電解加工、電子ビーム加工等を中心とした電気加工全般の新しい技術手法、研究等の情報交換および勉学を目的とした研究会であり、年に数回の例会、講演会、見学会等を行っている。今回の例会では、最近の国内外の最新の学術研究の紹介、製造現場の電気加工技術に関する討論、および最新の放電加工技術について講師を招いての特別講演などを行う。
日時 平成20年4月18日(金)
場所 岡山国際交流センター国際会議場
問合せ先 岡山市津島中3-1-1 〒700-8530 電話(086)251-8039
岡山大学工学部機械工学科 岡本 康寛

名称 日本機械学会第8回機素潤滑設計部門講演会
主催 日本機械学会機素潤滑設計部門
内容 ねじ・歯車・トランスミッション等の機械要素、これらの運転に伴い問題となる潤滑・表面性状、機械要素を利用する機械的な機構の設計、駆動源となるアクチュエータの設計と運転に関する領域について、大学・企業・その他研究機関に所属する研究者・技術者が集い、成果発表と意見交換を行う。
日時 平成20年4月21日(月)~22日(火)
場所 倉敷アイビースクウェア(倉敷市)
問合せ先 岡山市津島中3-1-1 〒700-8530 電話(086)251-8158
岡山大学工学部システム工学科 鈴森 康一

名称 The 9th PSJ International Symposium on the Interface between Plant and Fungal Viruses
主催 日本植物病理学会 植物ウイルス病研究会
内容 1日目はシンポジウム特別講演8題(1題当たり質疑応答含め45分程度)を予定している。植物ウイルス、菌類ウイルスから1題ずつ2題が1つのテーマの話題を提供するようにプログラムが組まれている。具体的には、植物ウイルス(Dr. M. Nishiguchi)、菌類ウイルス(Dr. D. L. Nuss)のRNAサイレンシング機構に関係するトピック、両ウイルスの発生態態に関する研究成果を1題(Dr. N. Matsumoto, Dr. K. Kondo)、さらに病徴発現機構についての成果をそれぞれのウイルスについて(Dr. H.・K. Kim, Dr. K. Mise)、また植物・糸状菌・ウイルス3者の相互共生についての講演(Dr. Omura, Dr. Roossinck)を予定している。同封の予定プログラムを参照されたい。また、日本植物病理学会のURL(http://www.ppsj.org/meeting_en.html)を参照されたい。
2日目、3日目は一般講演に当てる。1題当たり15分程度を予定している。外国人研究者、日本の研究機関の研究者/学生に積極的に発表して頂く予定である。演題数は1月末に確定するが、既に15以上の申し込みがある。議論される研究領域は、ウイルスの生態、病徴発現、複製宿主主因子等多岐にわたる。これは、研究者が自由に討議して頂くよう細かい時間的制約を故意に設けずに運営に当る。マイコウイルス関連のシンポジウムとしては意義深い会になると確信する。
日時 平成20年4月29日(火)~5月1日(木)
場所 倉敷市立美術館講堂
問合せ先 倉敷市中央2-20-1 〒700710-85300046 電話(086)434-1230
岡山大学資源生物科学研究所 鈴木 信弘

名称 モレキュラー・キラリティー2008 (MC2008)
主催 Molecular Chirality Research Organization (MCRO)
内容 本シンポジウムは1992年より毎年1回ずつ、工学系、理学系、薬学系等の幅広い領域の産学官の研究者、学生及び外国人研究者が集まって、キラリティー(光学対掌称性、光

学活性)を共通テーマとした有機合成、生物化学、物理化学等の立場から多様な研究発表を行って来ており、この領域で高い評価を得ている。最近では、2年前が大阪大学、一昨年が富山医科薬科大学、昨年が東京理科大学で開催された。本年度は岡山大学で第17回目のシンポジウム、MC2008を成松鎮雄(医歯薬学総合研究科・教授)が実行委員長として開催する予定である。

日時 平成20年5月22日(木)~23日(金)
場所 岡山大学創立五十周年記念館
問合せ先 岡山市津島中1-1-1 〒700-8530 電話(086)251-7942
岡山大学薬学部 成松 鎮雄

※平成20年度 学術研究助成，国際研究集会等派遣助成，学術研究集会・学術講演会への助成の予定

平成20年度公募要項は3月発行の本財団ニュースに掲載します。

※ほっと交流会※

「岡振サロン」では毎月第2金曜日に色々な方に「ほっとな話題」を提供していただき、気軽に意見を交わす「ほっと交流会」を開催しています。お気軽にご参加下さい。

平成20年1月11日(金)18:00~ 講師 岡山大学名誉教授 和田 力

「日本の経済・教養・大学」

「文芸春秋」12月号に掲載された「藤原正彦：教養立国ニッポン」をとっかかりにして、上記話題について意見を交換したい。

ランニ
半後に

いた
意識改
善な教
育「日

場所：岡山大学新技術研究センター1F、参加費(軽食

付)：賛助会員：800円、非会員：1,000円

※(財)岡山工学振興会賛助会員の募集について※

(財)岡山工学振興会は、平成元年2月3日に設立された特定公益増進法人です。本財団は、理工学に関する研究を進行するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携をはかり、もって学術および技術開発の進展に寄与することを目的としています。

本会の趣旨にご賛同のうえ、是非とも賛助会員をお引き受け頂き、ご支援賜りたくお願い申し上げます。

◆ 申し込み手続き ◆

- 1 (財)岡山工学会事務局までご連絡いただければ、「賛助会員申込書」をご送付します。
- 2 賛助会費(年額)

| | | |
|------------|---------|------|
| (1)法人会員 1口 | 50,000円 | 1口以上 |
| (2)個人会員 1口 | 5,000円 | 1口以上 |

◆ 企業等からの研究助成寄附金の優遇(免税)についてお知らせ ◆

1. 岡山県下で開催される全国学会・国際学会等で企業等から寄附を受ける場合
 2. 個人あるいはグループを指定し、企業から寄附を受ける場合
- 財団事務局までお問い合わせください。

お問合せ先： Tel, Fax: 086-255-8311
財団事務局 E-mail: ofst@cc.okayama-u.ac.jp
URL: <http://www1a>.

◆ (財)岡山工学会賛助会員の募集について ◆

(財)岡山工学会は、平成元年2月3日に設立された特定公益増進法人です。本財団は、理工学に関する研究を進行するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携をはかり、もって学術および技術開発の進展に寄与することを目的としています。

本会の趣旨にご賛同のうえ、是非とも賛助会員をお引き受け頂き、ご支援賜りたくお願い申し上げます。

◆ 申し込み手続き ◆

- 1 (財)岡山工学会事務局までご連絡いただければ、「賛助会員申込書」をご送付します。
電話/Fax : (086)255-8311 e-mail : ofst@cc.okayama-u.ac.jp
- 2 賛助会費(年額)

| | | |
|------------|---------|------|
| (1)法人会員 1口 | 50,000円 | 1口以上 |
| (2)個人会員 1口 | 5,000円 | 1口以上 |

◆「岡振サロン」のお知らせ◆

(財)岡山工学振興会では企業の方・岡山大学教授・名誉教授の先生方のご協力により、**産学交流「岡振ほっと技術サロン」**(略称「**岡振サロン**」)を始めました。「**岡振サロン**」は最新技術に関する「**ホット**」な話題と「**ほっと**」一息つける時空間を用意して、技術者・研究者の交流の輪を広げることを目的としています。

◆ **ほっとサロン** ◆

(財)岡山工学振興会事務局内に10名程度が入れる「**ほっとサロン**」を用意しましたので、岡山大学へ来学された際の研究打合せ・待ち合わせ・休憩等にご利用下さい。

また、理工学・技術の振興、進学・求人などに関する、ご相談に常時応じられるような体制に整備したいと考えておりますが、当面は下表の先生方のご協力に対応いたしますので、ご希望の節は財団事務局までご連絡下さい。

| 分 | 10:30～12:00 | 13:30～15:00 | 15:00～16:30 |
|---|--------------------------------|---|--|
| 月 | | 岡山大学名誉教授 田中善之助 | 岡山大学大学院自然科学研究科 教授 古賀隆治 |
| 少 | 岡山大学名誉教授 小西忠孝 | | |
| 大 | 岡山大学大学院自然科学研究科 教授 鷲尾 誠一 | | |
| 大 | 岡山大学名誉教授 和田 力 | 岡山大学名誉教授 可児弘毅 岡山大学名誉教授 小西忠孝 | 岡山大学名誉教授 可児弘毅 岡山大学大学院環境学研究科 教授 吉尾哲夫 |
| 会 | 岡山大学名誉教授 和田 力 岡山大学名誉教授 阪田祐作 | 岡山大学名誉教授 濱本嘉輔 岡山大学大学院自然科学研究科 教授 古賀隆治 | 岡山大学名誉教授 濱本嘉輔 岡山大学名誉教授 阪田祐作 |

相談無料

「お願い」4月以降の「ほっとサロン」にご協力いただける先生方・企業の方等いらっしゃいましたら、財団事務局までご一報いただければ幸いです。

◆ **ほっと交流会** ◆

「**岡振サロン**」では毎月第2金曜日に色々な方に「**ほっとな話題**」を提供していただき、気軽に意見を交わす「**ほっと交流会**」も計画していますのでお気軽にご参加下さい。

4月・5月の開催案内(6月・7月・9月も開催を予定していますが、内容が決まり次第HPでご案内いたします。)

(財)岡山工学振興会事務局へ申込み下さい。

平成19年4月13日(金) 17:30～19:

30 岡山大学新技術研究センター

『プリモプエル・ウィキペディア・ロングテイル』 - カタカナ日本語はなるべく使いたくないのですが、それを使わないとうまく話せないこともあります。最近気になっているカタカナ日本語について話すつもりです。

講師 和田 力 岡山大学名誉教授

参加費（軽食付）賛助会員：1,000円、非会員：2,000円

平成19年5月11日（金）18:00～20:

00 岡山大学新技術研究センター

『環境問題を歴史的技術観にみる』 古代ギリシャ時代から今に続く人類にとって避けられない課題を考えてみます。

講師 小西忠孝 岡山大学名誉教授

参加費（軽食付）賛助会員：1,000円、非会員：2,000円

※（財）岡山工学会賛助会員の募集について※

（財）岡山工学会は、平成元年2月3日に設立された特定公益増進法人です。本財団は、理工学に関する研究を進行するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携をはかり、もって学術および技術開発の進展に寄与することを目的としています。

本会の趣旨にご賛同のうえ、是非とも賛助会員をお引き受け頂き、ご支援賜りたくお願い申し上げます。

◆ 申し込み手続き ◆

- 1 （財）岡山工学会事務局までご連絡いただければ、「賛助会員申込書」をご送付します。
- 2 賛助会費（年額）

| | | | |
|---------|----|---------|------|
| (1)法人会員 | 1口 | 50,000円 | 1口以上 |
| (2)個人会員 | 1口 | 5,000円 | 1口以上 |

お問合せ先： Tel, Fax: 086-255-8311

財団事務局 E-mail: ofst@cc.okayama-u.ac.jp

URL: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst>